

東建パブリニュース

平成30年7月30日

経営管理本部 広報IR室

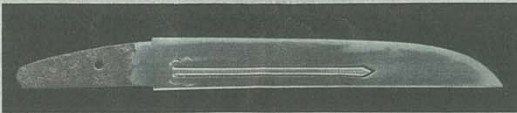
《このニュースは、当社に関連する記事が掲載された新聞・雑誌等の情報を逐次、速報するものです。》

掲載

平成30年7月19日 読売新聞 P.21

●当社に関する記事の掲載がありましたので、以下の通りご報告いたします。

国宝の短刀「庖丁正宗」(徳川美術館蔵)



徳川家の名刀一堂に

21日から特別展

徳川美術館(名古屋市東区)で21日から開催される特別展「名刀紀行 五箇伝巡り」(9月2日まで)が、刀剣ファンらの間で注目を集めている。同美術館で開催する刀剣の特別展は6年ぶりだが、所蔵する国宝から重要美術品まで指定品の名刀すべてが一堂に並ぶのは、1935年の開館以来初となる。

刀剣の名産地「山城(京都)」「相模(神奈川)」「備前(岡山)」「大和(奈良)」「美濃(岐阜)」。

つ地域に古くから伝わる技法や作風(五箇伝)に焦点を当て、作られた時代や地域性などの特徴がどのように表れているか、尾張徳川家に伝わる名刀で紹介する。

展示期間中、同時開催の企画展「英雄たちの戦国合戦」と、常設の「名品コレクション展」を合わせた展示される刀の総数は、国宝10振、重要文化財19振、重要美術品23振を含む、計78振(期間中展示替えあり)になる。

刀剣女子も注目 博物館20年開館

「刀剣女子」に代表される日本刀ブーム。名古屋市内でも見どころは多い。

三種の神器の一つ「草薙神劍」を

まつり、名刀の宝庫ともいわれる熱田神宮(熱田区)で人気なのが、宝物館に展示されている通称「真柄太刀」。浅井朝倉連合軍と織田徳川連合軍が激突した姉川の合戦(1570年)で、朝倉方の武将・真柄十郎左衛門が使用したとされる。室町期に備中(現在の岡山県)で作られ、長さは2拵を超える。

2020年6月には中区栄に美術刀剣博物館「名古屋刀剣ワールド」が開館する。ホテル型高級賃貸マンション「栄タワーヒルズ」(来年2月完成)の2階と別館に、加賀前田家に伝わる国重要文化財の短刀「大坂長義」など200振り以上の日本刀や甲冑を展示。現在、中区丸の内の東建コーポレーション「刀剣コレクションルーム」では国重要美術品の刀「金粉銘来国俊」が見られる。

以上